

サンマルコ施工要領書

内装仕上げ

- ・石膏ボードの貼り方
- ・石膏ボードのパテ処理方法
- ・マスキングと養生
- ・コンパネ合板等の下地処理
- ・古壁、コンクリート、モルタル下地処理

マルモリーノクラシコ
マルモアンティコ
グラッセロ ディ カルチェ
クラシック
コンクリートアート
アクリシルデコラ
フォルマ
イージーアート
マルコポーロラグジュアリー

カドーロ
マイアート
デコリ クラシチ
ヴェラトウーラ
ロキシダン
パティナー
4(フォー) プロテクション
デコフィルム

*コンティニューオは別紙

外装仕上げ

- ・推奨下地施工紹介

アクリシルデコラ
アンティカカルチェ エリート
コンクリートアート
*マルモリーノクラシコ
*マルモアンティコ



<https://onthewall.co.jp/sanmarco/>

(輸入元)
株式会社オンザウォール

〒422-8005
静岡県静岡市駿河区池田 364-1
TEL 054-368-4386
FAX 054-368-4387
2020/5

内装仕上げ

●石膏ボードの貼り方（JASS15左官工事2.9に準拠する）

- 1) 石膏ボード（プasterボード：以下PB）は隙間の無いように貼り込んで下さい。
- 2) PBは**3尺×8尺**又は**3尺×9尺**サイズをお使い下さい。横目地が少なくなるのでクラック防止に繋がります。ビスピッチは**10㍉～15㍉**です。
- 3) ドア、窓枠の縦枠に沿ってPBのジョイント部分が来ない様にして下さい。開け閉めの衝撃でクラックが入りやすくなります。
- 4) PBのジョイントは必ず木下地の場所でビス止めして下さい。
*ジョイント小口を木工用ボンドで止めるとより強化な下地となります

●石膏ボードパテ処理（内装仕上げ材共通）

※塗り壁専用パテ 下塗り用／上塗り用 をご使用ください。

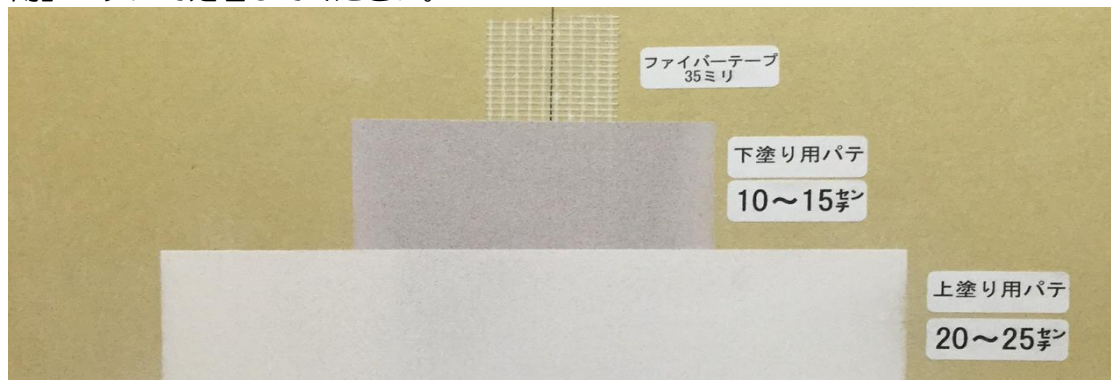
【下塗り用】ヤセが少なく細粒。厚付性能と作業性を両立。

【上塗り用】超細粒。パテのつなぎが出にくい塗り壁用パテ。

使用時はコテ板の上でよく練ってからご使用下さい。

硬く感じる場合は2%程加水すると塗りやすくなります。

- 1) PBのVカット部を「下塗り用」パテで埋めてください。
- 2) ジョイント部分を35^ミファイバーテープで補強します。
出隅・入隅は50^ミファイバーテープで巻き込んでください。
- 3) ファイバーテープを覆い隠すよう「下塗り用」パテで**10㍉～15㍉**幅で1回目のパテ処理をし**十分乾燥**させます。この際パテをすり切り過ぎるとメッシュ透けの原因になります。ビス頭も「下塗り用」パテにて処理してください。
- 4) 乾燥後「上塗り用」パテにて**20㍉～25㍉**幅で2回目のパテ処理をし、**十分乾燥**させます。この際パテをすり切り過ぎるとメッシュ透けの原因になります。ビス頭も「上塗り用」パテにて処理してください。



※パテ処理でやせた部分やテープの透けがない状態にしてください。

※パテが十分乾燥していない状態で次の工程へ進みますとパテの硬化不良の原因となりますのでご注意ください。

※出隅にプラスチックのコーナー材を使用した場合はその上に接着増強剤（シーラーなど）を塗布してください。

※出隅のPBの小口が出ている箇所はファイバーテープを貼る前に、接着増強材（シーラーなど）を塗布し粉っぽさを抑えてからファイバーテープとパテ処理をしてください。

粉っぽさが残るとファイバーテープの浮きや剥離の原因となります。

●マスキングと養生（内装仕上げ材共通）

マスキングテープを窓枠、ドア枠、廻り縁等に仕上げ材の仕上がり厚さ分のすき間を作りマスキングします。すき間は塗り壁材系の場合は1^{mm}～1.5^{mm}、塗料系の場合は、0～0.2^{mm}程度開けて下さい。漆喰はアルカリ性の為、梁や無垢木材製品の変色を引き起こす恐れがありますのでご注意ください。床養生も行って下さい。マスキングテープは材料硬化前に取って下さい。

●コンパネ合板等の下地処理（内装仕上げ材共通）

1) 灰汁（アク）止めシーラーを塗布します。

2) 石膏ボード同様ジョイント部にファイバーテープで補強しパテ処理をして下さい。

※コンパネ合板等は水分の吸い込みによる小口の膨張がクラックの原因となる場合がございます。

※紙付き合板（Mクロス等）は使用しないでください。仕上げ面のしわやアクの恐れがあります。

●古壁・コンクリート・モルタル下地処理（内装仕上げ材共通）

1) 灰汁（アク）止めシーラーを塗布します。

2) 状況によっては下塗り用パテにて不陸調整して下さい。

※劣化や剥離など傷みが激しい場合は一度剥離させてから灰汁止めから行って下さい。

★以下、各商品の施工手順となります。

施工は5℃以上35℃以下の環境で行って下さい。

施工手順、乾燥時間（25℃湿度65%で記載）を守って施工して下さい。

【マルモリーノ クラシコ - 漆喰 -】の内装仕上げ方

◎別売りの専用プライマー（アトモ）を塗布します。

1 缶 15 ㍓ で標準施工面積は 240～300 ㎡です。水で倍に希釈して下さい。
乾燥時間は約2時間です。※小分けサイズ4 ㍓（64～80 ㎡）もございます。

◎着色済みの材料です。使用前によくかき混ぜて下さい。

※加水不要ですがお好みで水を加えても構いません。材料が柔らかくなったら準備完了です。

A. ラフ仕上げの場合 →1 度塗り

ステンレス製の仕上げコテ（0.3～0.5 ㍓程度）で施工して下さい。塗り厚1 ㍓～2 ㍓程度で均一に塗り付け後、コテにて柄付けを行います。厚塗りは表面の細かなひび割れの原因となりますのでご注意ください。ウェーブ又はランダムパターンは1 度塗りで完成です。

B. 押え仕上げ／磨き仕上げの場合 →2 度塗り＋押え＋磨き

1 度目は薄く塗り付け 8 時間以上乾燥させてください。2 度目も薄く塗り付け手につかない程度に乾いたら、適度な力を加え壁に押し当てる様に動かして下さい。加圧により材料密度が高まりザラザラした表面からツルとした表情になります。押え仕上げはここで完成です。

磨き仕上げの場合は加圧作業を繰り返す事により光沢が増します。また2 度目の塗り付け時に少量ずつ弧を描く様に材料を付ける事により柄が付き奥行きと艶のある表情に仕上がります。

★磨き過ぎはくすみの原因となりますのでご注意ください。

★カラーご使用時は色の濃淡がでます。

★磨きの際は必ずきれいなコテをご使用下さい。

★ローラーでの塗り付けはできません。



ランダム仕上げ



磨き仕上げ



カラー磨き仕上げ



動画 ↓

https://onthewall.co.jp/sanmarco/sanmarco_tozai/sanmarco_marmorinoclassico/

☆表面保護材の併用もおすすめです。パティナーと4プロテクションからお選びください。

13～14 ページ参照ください。

【マルモ アンティコ - 漆喰 - 】の内装仕上げ方

◎別売りの専用プライマー（アトモ）を塗布します。

1 缶 15 ㍓ で標準施工面積は 240～300 ㎡です。水で倍に希釈して下さい。
乾燥時間は約2時間です。※小分けサイズ4 ㍓（64～80 ㎡）もございます。

◎着色済みの材料です。使用前によくかき混ぜて下さい。

※加水不要ですがお好みで水を加えても構いません。材料が柔らかくなったら準備完了です。

A. ラフ仕上げの場合→1 度塗り

ステンレス製の仕上げコテ（0.3～0.5 ㍓程度）で施工して下さい。塗り厚1 ㍓～2 ㍓程度で均一に塗り付け後、コテにて柄付けを行います。厚塗りは表面の細かなひび割れの原因となりますのでご注意ください。ウェーブまたはランダムパターンは1 度塗りで完成です。

★マルモリーノクラシコよりも骨材が大きく粗い表情を楽しめます。

B. スクラッチ仕上げの場合→2 度塗り+スクラッチ

1 度目は薄く塗り付け 8 時間以上乾燥させてください。2 度目も薄く塗り付け手につかない程度に乾いたら、軽く擦ってください。表面が平らになったらコテのエッジなどで骨材を転がし表面に傷をつけます。削れた材料は除去し軽く表面を擦り完成です。

★最初に擦り過ぎると骨材が埋まり転がし難くなりますのでご注意ください。

★カラーご使用時は色の濃淡がでます。

★擦りの際は必ずきれいなコテをご使用下さい。

★ローラーでの塗り付けはできません。



スクラッチ



完成



動画↓

https://onthewall.co.jp/sanmarco/sanmarco_tozai/sanmarco_marmoantico/



キャタピラー型ローラーで特徴的なスクラッチもできます。

☆表面保護材の併用もおすすめです。パティナーと4プロテクションからお選びください。
13～14 ページ参照ください。

【グラッセロ ディ カルチェ - ペースト漆喰-】の仕上げ方

◎塗膜が薄いので塗装下地用のパテ処理してください。

◎別売りの専用プライマー（アトモ）を塗布します。

1 缶 15 ㍓ で標準施工面積は 240～300 ㎡です。水で倍に希釈して下さい。
乾燥時間は約2時間です。※小分けサイズ4 ㍓（64～80 ㎡）もございます。

◎着色済みの材料です。使用前によくかき混ぜて下さい。

※加水不要ですがお好みで水を加えても構いません。材料が柔らかくなったら準備完了です。

A. 鏡面磨き仕上げ 2～3 度塗りです。

ステンレス製の仕上げコテ（0.5 ㍓程度）で施工して下さい。

1 度目は下地が透けない程度に塗り付け 8 時間以上乾燥させてください。2 度目以降の塗り付け時に少量ずつ弧を描く様に材料を付ける事により柄が付き、奥行きと艶のある表情に仕上がります。

★下塗りのコテ跡などの大きな段差は #120～240 サンドペーパーで削って下さい。

★磨き過ぎはくすみの原因となりますのでご注意ください。

★カラーご使用時は色の濃淡がでます。

★磨きの際は必ずきれいなコテをご使用下さい。



https://onthewall.co.jp/sanmarco/sanmarco_tozai/sanmarco_grassellodical

【クラシック - ペースト塗り壁材-】の仕上げ方

◎塗装下地用にパテ処理してください。

◎別売りの専用プライマー（アトモ）を塗布します。

1 缶 15 ㍓ で標準施工面積は 240～300 ㎡です。水で倍に希釈して下さい。
乾燥時間は約2時間です。※小分けサイズ4 ㍓（64～80 ㎡）もございます。

◎着色済みの材料です。使用前によくかき混ぜて下さい。

※加水不要ですがお好みで水を加えても構いません。材料が柔らかくなったら準備完了です。

A. 押え磨き仕上げ 2～3 度塗りです。

ステンレス製の仕上げコテ（0.5 ㍓程度）で施工して下さい。

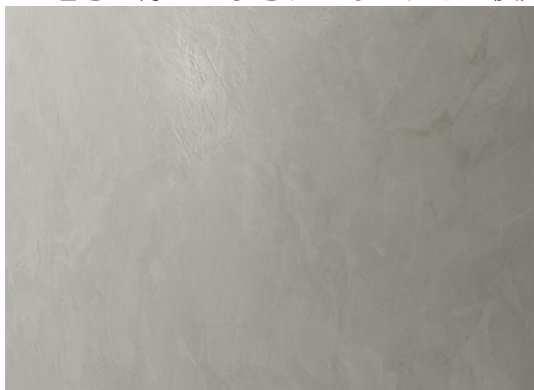
1 度目は下地が透けない程度に塗り付け 6 時間以上乾燥させてください。2 度目以降の塗り付け時に少量ずつ弧を描く様に材料を付ける事により柄が付き、奥行きと艶のある表情に仕上がります。

★下塗りのコテ跡などの大きな段差は #120～240 サンドペーパーで削って下さい。

★磨き過ぎはくすみの原因となりますのでご注意ください。

★カラーご使用時は色の濃淡がでます。

★磨きの際は必ずきれいなコテをご使用下さい。



【コンクリートアート - アクリル系 塗り壁材 -】の仕上げ方

◎別売りの専用プライマー（アトモ）を塗布します。

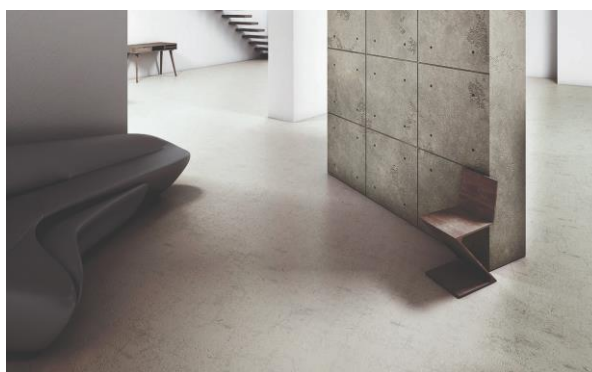
1 缶 15 ㍓ で標準施工面積は 240～300 ㎡ です。水で倍に希釈して下さい。
乾燥時間は約 2 時間です。※小分けサイズ 4 ㍓（64～80 ㎡）もございます。

◎着色済みの材料です。使用前によくかき混ぜて下さい。

※加水不要ですがお好みで水を加えても構いません。材料が柔らかくなったら準備完了です。

◎2 度塗りを基本とします。

コンクリート打ちっぱなし風仕上げ：1 度目は薄く塗り付け 6 時間以上乾燥させてください。
2 度目は意図的に塗り残しを作りコンクリート打ちっぱなし特有の打設ムラや風化を表現しま
す。2 度目の半乾き時に枠コンパネ跡のライン溝を彫ったり、セパレーター穴の丸い窪みを付
けたりするとより、打ちっぱなしの風合いに仕上がります。乾燥後乾燥後 #120～240 のサン
ドペーパー研磨でより滑らかな手触りになります。研磨時色が薄くなります。



↓動画

https://onthewall.co.jp/sanmarco/sanmarco_tozai/sanmarco_concretart/

☆表面保護材のデコフィルムの併用もおすすめです。14 ページ参照ください。
壁の水拭きが可能になります。

【アクリシル デコラ - アクリル系 塗り壁材 -】の仕上げ方

◎別売りの専用プライマー（アトモ）を塗布します。

1 缶 15 ㍓ で標準施工面積は 240～300 ㎡です。水で倍に希釈して下さい。
乾燥時間は約2時間です。※小分けサイズ4 ㍓（64～80 ㎡）もございます。

◎着色済みの材料です。使用前によくかき混ぜて下さい。

※加水不要ですがお好みで水を加えても構いません。材料が柔らかくなったら準備完了です。

◎2 度塗りを基本とします。

1 度目は薄く（1～1.2kg/㎡目安）塗り付け3時間以上乾燥させてください。

2 度目も同程度（1～1.2kg/㎡目安）の塗り付けを行い、触っても手に材料がつかない程度に表面が乾き始めた頃合いに表面をコテで押え始めます。始めは小さな円を描く様にコテを動かします。コテ跡が消えて、その後表面が滑らかになる様にコテで押えます。コテ跡が消えクリスタルが輝いたら施工完了です。

乾燥後乾燥後 #120～240 のサンドペーパー研磨でより滑らかな手触りになります。

サンドペーパーで磨くと色味が薄くなります。

★施工気温や施工面温度により乾き始めの頃合いは変わりますのでご注意ください。

★過度な押えはコテ焼けによるくすみや黒い骨材が潰れる（グラニットの場合）原因となりますのでご注意ください。

★下記 URL、QR コードから動画ご確認ください。



クリスタル



グラニット



https://onthewall.co.jp/sanmarco/sanmarco_tozai/sanmarco_acrisyldecora/

☆表面保護材のデコフィルムの併用もおすすめてです。14 ページ参照ください。

壁の水拭きが可能になります。

【フォルマ - アクリル系 塗り壁材 -】の仕上げ方

◎別売りの専用プライマー（アトモ）を塗布します。

1缶 15ℓで標準施工面積は240～300㎡です。水で倍に希釈して下さい。
乾燥時間は約2時間です。※小分けサイズ4ℓ（64～80㎡）もございます。

◎着色済みの材料です。使用前によくかき混ぜて下さい。

※加水不要ですがお好みで水を加えても構いません。材料が柔らかくなったら準備完了です。

◎1度塗りを基本とします。

全面に塗り付け後、不規則に重ね塗ります。触っても手に材料がつかない程度に表面が乾き始めた頃合いにコテで凸部をつぶして下さい。（ヘッドカット）



◎ロキシダン（サビ酸化風塗料）を塗布します。※12ページ参照

【カドーロ - 塗料 -】の仕上げ方 ☆2度塗りです！

◎塗装下地用にパテ処理してください。

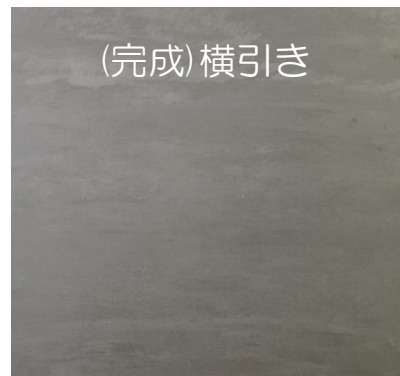
◎別売りの塗料用プライマー（デコラフォンド）を塗布します。

1缶 4ℓで標準施工面積は30～40㎡です。水で30～35%希釈して下さい。乾燥時間は約2時間です。白い下塗り材ですので塗り残しや薄い箇所がわかります。必要に応じて再度塗布して下さい。

◎着色済みの材料です。使用前によくかき混ぜて下さい。※加水不要です。

◎2度塗りを基本とします。

コテで塗布します。コテ跡はあまり残さないように。乾燥後コテで2度目の塗布をします。コテで小さな円を描いたり、横に引きずり柄を付けます。





動画 https://onthewall.co.jp/sanmarco/sanmarco_toryou/sanmarco_cadoro/
☆表面保護材のデコフィルムの併用もおすすめです。14 ページ参照ください。
壁の水拭きが可能になります。

【イージーアート - 塗料 - 】の仕上げ方

◎別売りの塗料用プライマー（デコラフォンド）を塗布します。

1 缶 4 ㍓ で標準施工面積は30~40㎡です。水で30~35%希釈して下さい。乾燥時間は約2時間です。白い下塗り材ですので塗り残しや薄い箇所がわかります。必要に応じて再度塗布して下さい。

◎着色済みの材料です。使用前に水で10%程度希釈して下さい。

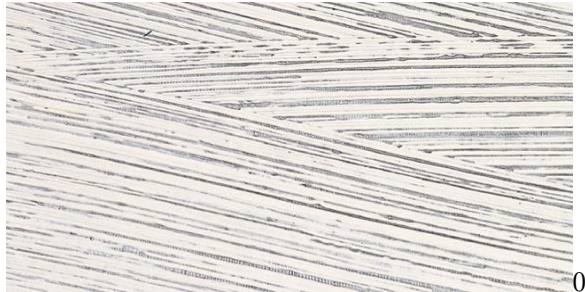
◎1~2度塗りです。2色使う事で奥行感のある表情が生まれます。

【木目エフェクト施工方法】



1 度目はコテで塗り付け後、木目パターンを使い木目模様を付けます。完全乾燥後2度目は違う色を用いて木目模様の凹部を埋めるようにコテで塗ります。

※茶色は1度目塗りで木目柄、白は2度目塗り。



https://onthewall.co.jp/sanmarco/sanmarco_toryou/sanmarco_easyart/
☆表面保護材のデコフィルムの併用もおすすめです。14 ページ参照ください。
壁の水拭きが可能になります。

【マルコポーロラグジュアリー - 塗料 -】の仕上げ方

◎塗装下地用にパテ処理してください。

◎別売りの塗料用プライマー（デコラフォンド）を塗布します。

1缶4ℓで標準施工面積は30～40㎡です。水で30～35%希釈して下さい。乾燥時間は約2時間です。白い下塗り材ですので塗り残しや薄い箇所がわかります。必要に応じて再度塗布して下さい。 ※下地材の透け防止に仕上げ材に近い色で着色も可能です。

◎着色済みの材料です。使用前によくかき混ぜて下さい。5%まで加水可

◎刷毛で塗布後、塗料内の細粒を刷毛やスポンジ等で散らし柄を出します。

※下記画像の色の濃い部分が細粒です。散らし過ぎによる下地の透けにご注意ください。



動画 https://onthewall.co.jp/sanmarco/sanmarco_toryou/sanmarco_marcorololuxury/
☆表面保護材のデコフィルムとの併用もおすすめです。14ページ参照ください。
壁の水拭きが可能になります。

【マイアート - 塗料-】の仕上げ方

☆黒、濃紺など濃色下地に塗布します！

◎まずはマスキングと養生をしっかりと行いましょう！

◎塗料をよく振って混ぜてください。

◎刷毛やスポンジに適量とり薄目に塗布します。

又はローラー塗布後にスポンジ等で伸ばします。

基本は1度塗りですが、2度塗りにより奥行きがでます。



動画 https://onthewall.co.jp/sanmarco/sanmarco_toryou/sanmarco_myart/

【デコリ クラシチ - 塗料 -】の仕上げ方

◎塗装下地用にパテ処理してください。

◎別売りの塗料用プライマー（デコラフォンド）を塗布します。

1缶4ℓで標準施工面積は30～40㎡です。水で30～35%希釈して下さい。乾燥時間は約2時間です。白い下塗り材ですので塗り残しや薄い箇所がわかります。必要に応じて再度塗布して下さい。

◎着色済みの材料です。使用前によくかき混ぜて下さい。※加水不要です。

◎刷毛等で塗布し 15 分後に柔らかなプラスチック鏝等で表面をなでます。



動画の赤色や緑色が本商品です。はじめの白はプライマーです。

https://onthewall.co.jp/sanmarco/sanmarco_toryou/sanmarco_decoriclassici/

☆表面保護材のデコフィルムとの併用もおすすめです。14 ページ参照ください。

壁の水拭きが可能になります。

【ロキシダン - 塗料 -】の使用法

内外装材各種仕上げ材の上に塗布する酸化サビ風メタリック塗料です。

◎フォルマにて立体感に仕上げた壁に塗ります。※9 ページ参照

◎サビ酸化風メタリック塗料として使用 《着色済み》

凹凸を付けた塗り壁材の上にスポンジ等で叩くように塗布してください。

単色での塗布はもちろん、2～3色重ねる事でサビ風合いが表現できます。



【ヴェラトゥーラ - 塗料 - 】の使用方法

内外装材各種仕上げ材の上に塗布するエイジング塗料です。

◎エイジング塗料として使用 《着色済み》

→色が濃く付く恐れがございますので、お好みで70%~500%程度希釈し目立たないところで試してからご使用下さい。洗車用スポンジ等で軽くたたく様に塗布し、きれいな布などで部分的にふき取ると色の濃淡などの不均一が壁に重厚感を与えます。

※ラフ仕上げ部は吸い込み（着色）が強く、磨き仕上げ部は吸い込み（着色）が弱いのでご注意ください。



対象材料：マルモリーノクラシコ、マルモアンティコ、コンクリートアート

◎着色塗料に使用 《着色済み》

→色が濃く付く恐れがございますので、お好みで70%~100%程度希釈し目立たないところで試してからご使用下さい。

洗車用スポンジ等で円を描く様に塗布してください。



動画



https://onthewall.co.jp/sanmarco/sanmarco_toryou/sanmarco_velature/

【パティナー - 保護ワックス - 】の使用方法

クラシコ、アンティコなど漆喰内装に塗布するメタリックワックスです。

◎基本1度塗りです。

コテやスポンジ等で少しずつ柄付けながら塗布します。

※塗布量により白濁や光沢低減がございますので薄めからお試ください。



動画 <https://www.san-marco.com/eng/products/patina>

【フォープロテクション - 保護材 - 】の使用方法

クラシコ、アンティコなど漆喰内装に塗布するアクリル系保護材です。

◎1～2度塗りです。

1度目は水で15%希釈、2度目はそのままで刷毛や布等で少しずつ塗布します。

※塗布量により白濁や光沢低減がございますので薄めからお試してください。

<https://www.san-marco.com/eng/products/4protection>

【デコフィルム - 保護材 - 】の使用方法

樹脂系塗り壁材や塗料に塗布するウレタン配合アクリル系保護材です。

◎1～2度塗りです。

5～30%希釈で刷毛や布等で少しずつ塗布します。

※塗布量により白濁や光沢低減がございますので薄めからお試してください。

<https://www.san-marco.com/eng/products/decofilm>

●下地処理材 推奨品

処理材	メーカー	商品名	サイズ・容量等
ファイバーテープ	メーカー	ブリッジテープ	35/50 ^{mm} @0.12 ^{mm}
下塗り用パテ	オンザウォール	塗り壁専用パテ 下塗り用	9 ^{kg} 100 ^m 1回塗り
上塗り用パテ	オンザウォール	塗り壁専用パテ 上塗り用	10 ^{kg} 100 ^m 1回塗り
灰汁止めシーラー	ハネダ化学	ハイポリックシーラー	4 ^{kg} 40 ^m 2回塗り

パテは弊社指定の物をお使い下さい。

- ・推奨品は弊社でも販売致しております。
- ・使用方法は各メーカーの施工要領に従ってください。
- ・ご不明な点がございましたらお問い合わせ下さい。

●使用上の注意

- ・目に入った場合、直ちに水で15分以上洗い流し、異常がある場合は医師の診断を受けて下さい。
- ・状況により保護マスク、保護眼鏡、保護手袋等を着用して下さい。
- ・廃棄は容器も含めその地方の廃棄物処理に適した方法で行って下さい。
- ・Mクロス(紙付ベニヤ)は塗装後、紙にシワが発生し、仕上げ面にも影響を与えますので使用しないでください。
- ・UPパテ(吉野石膏)、ジョイントセメント(ニッター)等はアルカリ性(マルモリーノクラシコ等)との相性が悪く、変色や剥離などの原因となりますので使用しないでください。
- ・施工は摂氏5度以上の環境で行ってください。

外装仕上げ

☆推奨下地及び推奨ベースモルタル材

セメントボード/※サイディング/EPS/軽量モルタル/ブロックなど

※無塗装板サイディングは必ず寒冷地仕様（低伸縮性）をご使用下さい。

※サイディング板間目地はコーキング打ちせず、固めに練ったアデジーボ等を詰めて下さい。窓まわりはコーキングして下さい。

下地処理施工手順 ☆軽量モルタル下地の場合は①②不要です。

①接着プライマー 【商品名：アトモ】

◎別売りのプライマー（アトモ）を塗布します。

1缶 15ℓです。水で2倍に希釈して下さい。乾燥時間は約2時間です。

※プライマー乾燥後の長期放置は紫外線や雨による劣化の原因となります。

②ベース材＋全面メッシュ

【商品名：アデジーボ/コルベトン - 樹脂入りモルタル - 】

◎粉体 25kg に対して6～8ℓ水を入れて十分攪拌下さい。

◎下地材に2ℓ程度塗り付け全面にメッシュを伏せ込みます。メッシュの推奨貼り方向は横張りです。

◎乾燥後、メッシュの透けが大きい場合は再度アデジーボ/コルベトンを薄く塗ってメッシュ透けを補修してください。

③着色プライマー塗布【商品名：マルコテンプライマー粒入り】

◎別売りのマルコテンプライマーを塗布します。

1缶 15ℓです。水で30%程度希釈して下さい。乾燥時間は約2時間です。

乾くと白くなりますので仕上げ材が白の場合はそのままご使用ください。

仕上げ材が白以外の場合は仕上げ材に対応した着色プライマーを塗布してください。

乾燥後色が薄い箇所は再度塗布してください。

※プライマー乾燥後の長期放置は紫外線や雨による劣化の原因となります。

④各種仕上げ材施工

★以下、各商品の施工手順となります。

施工は5℃以上35℃以下の環境で行って下さい。

施工手順、乾燥時間（25℃湿度65%で記載）を守って施工して下さい

【クラシック - ペースト塗り壁材-】の仕上げ方

◎着色済みの材料です。使用前によくかき混ぜて下さい。

※加水不要ですがお好みで水を加えても構いません。材料が柔らかくなったら準備完了です。

◎押え磨き仕上げ 2~3 度塗りです。

ステンレス製の仕上げコテ（0.5mm程度）で施工して下さい。

1 度目は下地が透けない程度に塗り付け 6 時間以上乾燥させてください。2 度目以降の塗り付け時に少量ずつ弧を描く様に材料を付けながらの事により柄が付き、奥行きと艶のある表情に仕上がります。

★下塗りのコテ跡などの大きな段差は#120~240 サンドペーパーで削って下さい。

★磨き過ぎはくすみの原因となりますのでご注意ください。

★カラーご使用時は色の濃淡がでます。

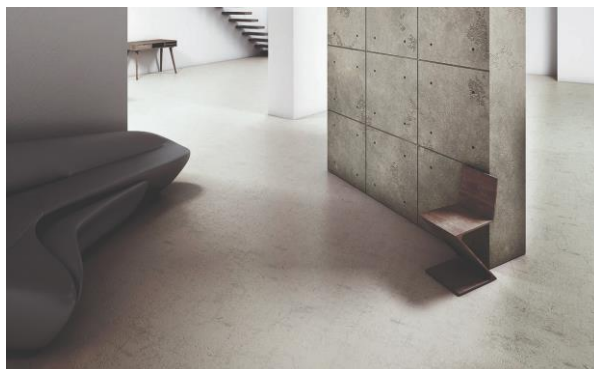
★磨きの際は必ずきれいなコテをご使用下さい。



【コンクリートアート - アクリル系 塗り壁材 -】の仕上げ方

◎2 度塗りを基本とします。

コンクリート打ちっぱなし風仕上げ：1 度目は薄く塗り付け 6 時間以上乾燥させてください。2 度目は意図的に塗り残しを作りコンクリート打ちっぱなし特有の打設ムラや風化を表現します。2 度目の半乾き時に枠コンパネ跡のライン溝を彫ったり、セパレーター穴の丸い窪みを付けたりするとより、打ちっぱなしの風合いに仕上がります。乾燥後乾燥後#120~240 のサンドペーパー研磨でより滑らかな手触りになります。研磨時色が薄くなります。



↓動画

https://onthewall.co.jp/sanmarco/sanmarco_tozai/sanmarco_concretart/

☆表面保護材のデコフィルムの併用もおすすめです。○ページ参照ください。

【アクリシル デコラ - アクリル系 塗り壁材 - 】の仕上げ方

◎2 度塗りを基本とします。

1 度目は薄く（1～1.2kg/m²目安）塗り付け3時間以上乾燥させてください。

2 度目も同程度（1～1.2kg/m²目安）の塗り付けを行い、触っても手に材料がつかない程度に表面が乾き始めた頃合いに表面をコテで押え始めます。始めは小さな円を描く様にコテを動かします。コテ跡が消えて、その後表面が滑らかなになる様にコテで押えます。コテ跡が消えクリスタルが輝いたら施工完了です。

乾燥後乾燥後 #120～240 のサンドペーパー研磨でより滑らかな手触りになります。

サンドペーパーで磨くと色味が薄くなります。

★施工気温や施工面温度により乾き始めの頃合いは変わりますのでご注意ください。

★過度な押えはコテ焼けによるくすみや黒い骨材が潰れる（グラニットの場合）原因となりますのでご注意ください。

★下記 URL、QR コードから動画ご確認ください。



クリスタル



グラニット



https://onthewall.co.jp/sanmarco/sanmarco_tozai/sanmarco_acrisyldecora/

☆表面保護材のデコフィルムの併用もおすすめです。○ページ参照ください。

●使用上の注意

- 目に入った場合、直ちに水で 15 分以上洗い流し、異常がある場合は医師の診断を受けて下さい。
- 状況により保護マスク、保護眼鏡、保護手袋等を着用して下さい。
- 廃棄は容器も含めその地方の廃棄物処理に適した方法で行って下さい。
- 強風時の施工は避け、直射日光の当たらない面から施工してください。
- 施工は摂氏5度以上の環境で行ってください。
- 施工後、完全に乾くまで（25℃で72時間雨養生をしっかりと行ってください。

2020/4/30

(株) オンザウォール